

わかば

ワカバ会

48 号

東京都立三田高等学校
同窓会
社団法人 ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46
電話 (03)3451-0227
FAX (03)3452-4590

時間
午前10時～午後4時
休日
土曜・日曜・祝祭日

会員の皆様へ

ワカバ会会長 小野 紘一
(8-13)



は、会員の皆様にはご健勝にて爽秋をお迎えのことと思います。

平成十二年五月に本年度の定例の総会を開催いたしましたところ、久し振りに多数の新会員の参加もあり、大いに盛り上がりしました。

議事も滞りなく進行し、引き続き行われた懇親パーティーも恒例の沢山の賞品の当たる福引の抽選に多くの新会員が当選し、大変喜んでいる様子が見られるなど、和気藹々のうちに終了しました。

このように今回の総会では、新会員が積極的に参加されたこともあり、懇親パーティーも大いに盛り上ったこと

今夏はひ

ときわ厳し

い猛暑でし

たが、本号

がお手許に

届くころに

また来年度は、ワカバ会の理事、評

議員など役員

の改選期となり

ますが、

会員の皆様の

多種多様なご

要望を汲み

上げ、ワカバ

会と会員の皆

様のとの円滑

な意思の疎通

ができるよう

な体制とい

たしたいと考

えております

ので、会員

の皆様方のご

を心から感謝いたしております。

今後とも会員の皆様、総会に多数

出席され、楽しいワカバ会の総会を催

すことができることを期待しております。

また来年度は、ワカバ会の理事、評

議員など役員

の改選期となり

ますが、

会員の皆様の

多種多様なご

要望を汲み

上げ、ワカバ

会と会員の皆

様のとの円滑

な意思の疎通

ができるよう

な体制とい

たしたいと考

えております

ので、会員

の皆様方のご

協力を宜敷く

お願い申し

上げる次第

です。

伝統の継続

ワカバ会名誉会長
三田 高校 校長

米田 敏男



皆様ご承知の

ように、本校の

教育目標は、健

康で知性が高く

情操豊かで、積

極的・誠実な人

間を育成する、

ということであり

ます。

私は、益々国際化、情報化が深まる現

代社会において、不易なこの教育目標

を改めて評価しております。さらに、

現代進められていく教育改革の理念の

「生きる力の育成」とは本校の教育目標

そのものである、とも考えております。

それは、去る五月に行われた総会、

その後の懇親会における会員の方々と、

現役の本校生徒が重なって見えたから

であります。近年、近頃の少年に対し

て風当たりが強い中、勉学にあるいは

部活動にと、ひたむきに熱中する本校

生徒の姿には感動すら覚えます。これ

と同じく、今日堂々と頼もしく社会の

第一線に立ち、実力を発揮され指導者

として活躍されている会員の方々も、

現役三田高生時代はまさにこうであっ

た、と思われるからであります。

これもひとえに、大正十二年開校以

来、約二万名を越える卒業生の方々を

持つ本校の長い伝統の賜物であります。

長く輝かしい歴史に加えて、さらなる

三田高校の充実発展のために、今日ま

での物心両面に亘るご援助に感謝申し

上げるとともに、今後尚一層のご支援

をお願い申し上げます。

目次

会長挨拶	1
名誉会長挨拶	1
先生方の近況	2
特集 第八通信	3
特別寄稿	5
私の近況	6
ワカバの輪	8
情報ひろば	10
ワカバ会行事に参加して	11
これからのワカバ会行事	12
学校だより	12
総会報告	13
決算・予算	13
理事会等報告	13
委員会報告	13
支部連絡先	14
OB会連絡先	14
追悼	15
三田・みる・スポーツ	16
事務局だより	16
編集後記	16



校舎からオセンチ山を望む

先生方の近況

(敬称略・順不同)

九代校長 吉田 元定

八十五歳を過ぎ心身ともに萎え、塾居生活の連続ですが、一日一日を大切に、何とか米寿までは考えています。

教頭 山藤 常雄

三田の教頭時代を懐しく想っています。当時は国際理解教育が盛んでした。昨年の十月に左記の本を出版しました。『高校教育改革の決め手』学事出版、私個人の教育に関するホームページを開きました。

URL http:

[//www.sahiglobe.ne.jp/totatu/](http://www.sahiglobe.ne.jp/totatu/)

国語 木下 和子

私も足が弱くなり遠出はできなくなりました。生涯学級のような処で、練馬区では近世文学を二十回、地元区では月一度の「古典をよむクラブ」を主宰。百人一首、伊勢物語は影印本で、源氏物語はやつと今、明石の巻を講じています。三年たちましたが、皆様との交流が楽しく続いています。

地理 金高喜次良

屋上庭園で富士を眺めながら、花咲き、実を結ぶを楽しんでいる。東京タワーも望めます。

英語 山崎 朝子

月曜日に芝公園まで行く用があり、三田高にお世話になってた折に乗り降りしていた「芝公園」駅を利用し、遠くから国際ビルをながめています。

数学 中居 信義

お陰様で退職後も元気で日々を送っています。一日に一〜二時間歩くことで体調を整えるようにしていますが、体力の衰えを感じます。家にいても何かとすることがあり、まだ退屈をする間がありません。老年期をどう生きればよいのか模索しているところです。

家庭 森本 静子

私は秋田大学を退官して東京に帰っておりますが、現在は、女子栄養大学と埼玉大学等へ非常勤で出講しております。

家庭 立山 香

都立成瀬高校に異動して二年目になります。家庭科も福祉、保育を充実しなければならず毎日が勉強です。

化学 篠崎 善治

今年の二月で私は七十七歳、五月に家内が七十歳を迎えました。

私は放射線教育フォーラムの顧問として、昨年JCO事故の後、会員のため、私が直接お願いして、特別研究会を開催、総合会社をつとめ、更にその内容をもとに月刊誌「エネルギー」の五、六月号にそれぞれ掲載して貰うことになりました。またこの年で再びテニスを始めるなど、中々ボケル暇なく元気に過して居ります。

保体 三浦 初枝(岡田)

愛知県に嫁いで二十四年になります。現在二〇〇五年開催予定の万博候補地「海上の森」のすぐ近く瀬戸市に住んでいます。息子たちも大きくなり私も豊田大谷高校に体育の教員として復職しております。私学で野球部等の活躍が目覚ましく、二回甲子園に行かせてもらいました。

物理 岩山 敬三

学校(青山高校)の前が神宮外苑なので四月の始めから今週末で開かれていた東京ガーディニングショウ(今年第一回目)に空き時間に五回も見に行きました。一日一万歩を目指して頑張っています。

用務主事 西 秀子

四月から荻窪高校に転勤となり、新しい出会いの中で毎日あわただしく過しています。三田高でのお花見はオセシチ山で楽しみましたが、今年は職場近くの善福寺川公園でした。

保体 松倉美佐子(鈴木)

高齢者の仲間入りした現在も、体育教師だった経験を生かして五十五歳からはじめた世田谷区障害児運動教室で月三〜四回体育館の中を走り回っています。

国語 芦村 紋子

稲城高校で十三年目、三回目の三年生担任、息子と同じ年の一年生を教えています。あいかわらず悪戦苦闘の毎日ですが、あたたかい職場に支えられてがんばっています。

事務 吉瀬はるか(松田)

父松田正義(旧職員、国語)が没して三年が過ぎ間もなく四年を迎えます。ワカバ会のわかばが届くたびに勤務していたころを思い出します。

私は相変らずグライダーと主婦業中心の生活で、会社は技術顧問です。週一回位に減りました。

総会の出欠はがきより転載させていただきます。

特集

第六通信

年をとりつれづれに思うこと

7-A 生駒 郁子(吉村)

私達大正生れの世代は、関東大震災、第二次世界大戦とその後の混乱の世相に翻弄されながら、よく自分を失わず対処してきた様な気が致します。

此の頃子供達の遊ぶ声や姿が街の中から少なくなつたことは、本当に寂しいことでございます。私は兄や弟に囲まれ、学校から帰ると夕食迄の時間は外でボール投げ、竹馬、木登り、ちよつと遠くの町まで遠征と云つて歩き廻る毎日でした。幼稚園から小学校、女学校と徒歩通学でしたので、現在もバ



スに乗るよりも歩こうと考へてしまします。これは丸山校長先生の御教えの賜と本当に感謝しております。偶然朝、仙台坂上から学校まで御一

い出します。中房温泉から燕岳への登山なども懐かしい思い出です。昭和の初めの第六乙女の登山姿、御目にかけます。

健康第一の第六の教育

9-U 鈴木 まき(坂田)

横浜に生まれ育つた私は毎朝六時半には家をとび出し、ぎゅう詰めの電車で田町まで、第六へ通つた五年間でした。ちょうど昭和六年入学の時、屋内プールが新しく出来ていました。放課後級友と楽しく泳ぎました。丸山丈作先生は健康であれば勉強はいつでも出来るという健康第一の教育方針でした。適応遠足で多摩川べりを上流に向かって一日中歩いた十里、沼部の農園は、都会育ちの我々には良い経験でした。私は八十二歳の現在でも第六時代に初期の虫歯を



学校で治していただきましたので、歯根は全部自分のもの。当市で連続表彰していただきました。それに毎早朝の体操で足腰痛い所もなく健康で過ごせるのも第六で教育を受けたおかげと感謝しております。

本当に有難うございました。

昨年は六十年ぶりで初めてクラス会に出席いたし、夢の様な一日を過ごしました。

楽しく学んだ娘時代

10-E 新 和世(佐藤)

第六高女の思い出と言え、JRの田町駅から三田通りを芝公園に向かつて歩いたあの道をなつかしく思い出します。校門を入るとすぐ体育館で、その設備は立派でした。体育の時間に先生の御指導のもと、様々な用具を使って体を鍛えました。又校内の温水プールで水泳の基本から教えていただき、冬でも楽しく泳ぎました。生徒は健康に恵まれ冬でもオーバー無しで通学したものです。丸山校長先生のお考えで、体を鍛え、見聞を広めるために適応遠足が設けられ、体力に依りて里数を選んで、多摩川の土手を歩きました。又沼部に農園が造られ、土に親しむ事も出来ました。娘時代の澆刺とした自由な雰囲気の中で楽しく学ぶ事が出来た事を感謝し、校長先生始め諸先生方の御恩を有難く思っております。母校の御発展をお祈り申し上げます。

八十路半ばの近況

7-A 清瀬 夏江



右から二人目が筆者

遙か彼方の時を指折り数えれば六十六年前になる。満州事変等そろそろ風雲急を告げる前触れとはいへ、

まだ戦争の影が濃く迫る寸前、昭和一桁最後の年私共は学び舎を巣立った。丸山初代校長のお勧めで在学中は、毎月の適応遠足等否応なく歩かされ足を鍛えさせられた。(白状すれば私は最低の二キロだった)お蔭をもつて我々同窓生は同年配の人と比べ、足の達者な人が多い。今もクラスメート三、四人で短い旅をする。とは申せ、お互い様八十路を越えようと、足といわず頭といわず衰えが目立つのも世の常か。私も御多分に洩れず腰椎のずれとやら、膝がどうとやらで整形外科の御世話になる。でも夫亡き後の今も毎年欧州一人旅が可能な程度の日常で、今年も娘の独奏会(リサイタルに付合い瑞西スリス、独逸(ドイツ)、丁抹(デンマーク)に滞在したが、何れ遠からず足を洗う時機がくるだろう。

私の今昔

8-U 田中 菊代(三村)

第六に入學してまず飄飄たる丸山先生の教育、カナ文字横書き、エスペラント語、適応遠足、神宮外苑での運動会等驚く事ばかりでございました。

卒業以来六十五年の歳月が流れ、波乱の人生を経て一生懸命生きて参りました。海軍士官に嫁し終戦を迎え、今度は私が働きますと豪語したもののさて何を?と。結局七歳からの長唄を教えることにし篠塚先生の御好意でワカバ会館でも教え、六十余年の長唄生活を今も続けております。クラスの堀山さん九-Uの岸辺さん(現在箏曲の家元)にお世話になりながらお弟子にもなつて頂きました。リサイタルや演奏活動も華やかに味わう事が出来ました。念願の運転免許を一九八二年に取得し、主人存命の三年半をドライブや病院通いに役立てる事が出来、今も乗っております。「独り居も猫と車で亦楽し」の心境です。



友情に支えられた介護

8-A 吉岡 春江

この七月私は、一昨年亡くなった妹の介護日誌をまとめて友らに送ったが、改めて友情に支えられての介護であったことを思う。

妹と私の二人の生活は毎日が新しく充たされていた。食卓には、誰か友の顔がそこにあった。友あつてまた楽しい日々であった。

医者嫌いの妹であつたが、七十七歳になつたある日、むくみがひどいので診てもらつたところ、C型肝炎(輸血による)であと三ヶ月のいのちと非情な宣告をうけた。私はもちろん友らは驚き、自分たちでできることをやろうと、車の運転、掃除買物、おかずの差入れ、朝夕の犬の散歩、指圧等々、機敏に動いた。あと三ヶ月!おろおろする私に「いつもの通りの食卓で楽しい時をもちましようよ」との友の言葉に励まされ、そうだ、妹を真中に死の時まで、生き生きと;そしてその通りになつた。最後の瞬間妹はほほえんで天に帰つた。一人残つた私は、友からエネルギーを沢山もらつて八十三歳の今日を元気に生きている。

在学中の思い出

6-E 池田悠紀子

在学中の思い出といえば、毎月一回の校外教授、紺のジャンパースカート

に白のブラウス姿の生徒が二百人位、隊伍を整えて歩くのですから、目立つのでしょう。村の子供達が、「まだ来るッまだ来るッ」と喚声をあげていた姿が、今でも目に浮かびます。その頃は、東京近郊もまだ畑や林がかなり残つていました。かなりな強行軍でした。しかしそのお陰で足も体も丈夫になり、中房の林間学校にも参加して燕岳の山頂を極め、御来光を仰ぐ貴重な体験をする事も出来ました。但しその時の服装とは襷付きのブルマースに、脚にはゲートルを巻き、地下足袋をはく珍妙な姿でした。その時背負つたりユックは、戦時食糧の買出しに、役立つてくれました。

小学校時代の虚弱児童が、現在長生きしているのは、往年の鍛錬のたまものと、恩師の方々に感謝しております。

静岡の修道院から

10-U 木俣 八千

第六高女を卒業して六十三年もたちました。戦争の時に福島に疎開して、そのカトリック教会で洗礼を受けました。その後神さまから呼ばれて静岡の天使の聖母宣教師修道女会に入り神の愛をすべての人に分かちあうため、同じ信仰をもつシスター方と共同生活をしながら祈り働いております。特に貧しい人々の友となり、小さい人々なき人々と共に、又老人ホームでお年よりの手仕事をお手伝いするなど、キリ

ストの喜びの福音を告げ知らせながら、日々の生活をおさげしています。

この様な生活の中にも第六時代に健康などは今も役立つことばかりです。時にはクラス会に出席させて頂き、又電話で同級の方や静岡におすまいの同窓の方とお話するのは本当に嬉しく、いつかお目にかかれる日を楽しみにしています。



三田高校の前身「第六高等女学校」卒の方々に、学生時代の思い出、近況など自由に書いていただくシリーズです。今回は六回から十回卒業までの方にお願ひしました。

特別寄稿

メビウスの輪の中で

5-1 春名 殷子 (加藤)

筆名 入江 曜子

「変動の時代」といわれる二十世紀もあとわずか。二十一世紀といっても、昨日に続く今日があり、今日に続く明日があるだけ、といささかクールなのは、多分少女時代に個人としては一世紀分に相当するような「変動」を体験した世代の一人だからだろう。

一九四一年、太平洋戦争が始まる年の四月、私は国民学校へ一期生として入学した。「サイタサイタ」から「アカイアカイ」に変わったと説明される第五期国定教科書は、過日某総理がいみじくも言った「日本は天皇を中心とした神の国」に要約される天皇制の賛美、忠君愛国を説明抜きで馴染ませ、アジアの盟主日本の国民であることの自覚を教育目的としたものだ。

そして疎開、敗戦、教科書に墨をぬり、私たちの学年はふたたび新制中学の一期生として戦後の民主主義教育の最前列に立たされた。

今度出版した『少女の領分』（講

談社）は、その私の経験を投影した日本の敗戦と被占領、国家主義から民主主義への未知の世界への冒険に似た歴史の転換期の日々を生きた少女の自己形成の物語である。

憲法改正を視野にいれて、ガイドライン、国旗国歌と数の論理がまかりとおり、現代の教育を結果論的にあげつらって教育勅語の精神を云々の声が聞こえるいま、私は「洗脳」といつていい当時の実情の一端を知ってほしいと願っている。それは「なぜ戦争に反対しなかったのか」という問にたいする私なりの答えのひとつでもある。

二十一世紀という単なる時間の区切りが、ナショナリズムへの急旋回に利用されないよう、魂を眠らせる言葉に対して敏感でいたいと思っている。

その他の著書には「我が名はエリザベス―満州国皇帝の妻の生涯」一九八八年、筑摩書房刊、新田次郎文学賞受賞。「貴妃は毒殺されたか―皇帝溥儀と関東軍参謀吉岡の謎」一九九七年、新潮社刊。共訳書にR・F ジョンストン「紫禁城の黄昏」一九八九年、岩波書店刊。ウェールズ・N 著「中国に賭けた青春」一九九一年、岩波書店刊があります。

ブラジルより・第二信

2-A 川瀬不二代 (山本)

其の後お元気で過ごしてですか。御地はもう暑いのでしょうか。当地は今冬ですが、二、三度霜がおりましたがわりと暖かい冬の様です。まだストーブも入れずに過ごして居ります。そのかわりどつたりと着込んでおります。

(中略)

当地にも今は日本人はたくさんおりますが、もう若い人とは話が合わず、ほんの二、三人と電話でお話するだけみなさんお互いに死なないで、話相手がなくなるからと最後はそう云う事になります。もつとブラジル語が話せるとういのですが、大勢の子供（七人）をかかえ、食べさせさせて学校へやつてと、今ふりかえつてよく働いたものだと思えます。ただ長男を自動車事故で亡くしたのが残念です。孫やひ孫がいるので名前もおぼえられません。情けないことに……。でもどうか一人で自分の事は自分で出来るので有難い事です。これも第六できたえられたからでしょうか。一人暮らしでのんきな様で案外いそがしいのは家や庭が広すぎるからかもしれません。もう少し体がしつかりしたらクリチーバの様子をおしらせ致します。 (中略)



3-C
(故) 柴田正子
(入山)

3-C (故) 谷内領子 (田口)



3-C (故) 堀江マサ

好きな数学を一生懸命致しましたが、先生が代つて余り宿題を出さない方だったので家へ帰って遊んでばかりいて一べんに成績が悪くなつてしまいました。こんな事を書いてみると第六時代が一番楽しかったと思います。海、三津の海も忘れません。富士山へも登りました。中房温泉、燕、槍が岳、あの頃はまだ女の人は誰も登っておりませんでした。本当に思い出がいっぱいです。 (後略)

私の近況

犬は友

2-1 新実 妙子(長沢)

四十年営業してきた麻雀クラブを閉店して田舎暮らしをすることになり去年の暮に藤野町に越してきました。

田舎にきたら犬猫はあたりまえ、鶏も飼ってやろうと考えていました。

四月一日に、「とも」と名付けた小犬がやってきました。トイレのしつけに手間どり、私はバタバタするだけ、ともは鼻を床につけて部屋の隅から隅までたよりなげにちよこちよこ歩くだけで、私もともに疲れ切ってしまううかと思った時、できる様になりました。

ともは、名前のとおり友達を作るのに熱心で、犬を見ると近づいて、「遊ぼうよ 遊ぼうよ」と言っている様に思えるので、犬ばかりか人にも好かれて近所の子供達は、我が家を「ともちゃん」と呼んでいます。そんなわけで、私もおしゃべりに花を咲かせて、まだ鶏はおるか猫にも手が届かない状況です。

私の近況について

52-3 金子優里子

今年三月に三田高校を卒業し、早くも半年が過ぎました。今は相模原市で下宿をして大学へ通っています。

大学生になった頃は、自分で科目を選択したり、連絡は全て掲示板で行なったりという今までとの違いや、講義に慣れることに精一杯でした。しかし、かねてからの希望であった薬学部での勉強は、大変ながらも学び甲斐のある充実したものだと感じています。必修科目が多いため、課題やレポートも沢山課されますが、同じ目標を持った友人と協力して頑張っています。また部活には全学部から生徒が参加しているので、他学部の人とも知り合うことができました。

高校を卒業してからも、仲の良かった友人とは連絡をとり合っています。悩んだり困った時はお互いに助け合います。ながら、大学生活を送りたいと思います。

教育に携わる者の一人として

32-4 田沼 哲哉

三田高校を卒業してから早二十年が過ぎました。卒業までの年月より卒業後のそのほうが長くなったことになりました。

小学校の教員になってからも既に十六年を経過しました。品川、大田、港と第一学区にある学校に勤務してきたため、三田に進学した卒業生も数多くいます。現在は、三田からほど近い麻布十番商店街を学区の一部にもつ小学校に勤務しています。

教育界も他の世界と同様、大きな転換点にあります。青少年の引き起こす様々な犯罪等は、教育が変わらねばならないことを訴えています。今まで掛け声倒れに終わっていた部分もなくなかった教育改革ですが、今回は待たなし。教育に携わる者の一人として授業の改善に努める毎日です。

マンハッタンの豚

22-3 榎 百合子

早いものでニューヨークに住み始めて15年近く、マンハッタンは歩き廻るのに常に飽きる事のない街です。その私が出かけるのをやめて一目散にアパートに戻っていた時期があります。ヒヨんな縁でLAに越した友人の飼って



つかは自分の農場で好きな動物と暮らすのが目の下の私の夢です。

今頃思うこと

12-6 足立統一郎

私達が三田高に入学したのは昭和三十三年の春でした。素晴らしい友人や先生方の熱心な指導を受け、今思えば

いた豚を引き受けて一緒に住むハメになったからです。豚といってもヴェトナム産のペット用でサイズは成人しても小型犬くらいでしょう。とにかく映画「パイプ」で観ていたのと相俟って可愛い事、まるで食べちゃいたいくらい。この豚ちゃん、食物連鎖では餌の側のせいか臆病で甘えん坊、そしていつも食べては寝てばかり。おかげで私も起居を共にした一年間ですっかり太ってしまいました。故あって今は郊外の農場に預けてありますが、い



幸福な三年間でした。私自身は柔道部に入部し、先輩にもまれ、西沢、松原、堀越、今井、浅岡君達と汗を流しました。十三回生の岩倉君、橋村君、若松君の顔もなつかしく想い出されます。鳥取県境港市出身の私には三田高の伝統的な教育方針と、とりわけ女生徒の利発さや、スマートな考え方に感じ入った三年間でした、皆様がまぶしく見えました。

私は現在仕事の他に中国東北三省の一つ、吉林省人民政府(長春市、旧新京市)図門江開発弁公室の経済顧問を拝命し、吉林省と環日本海諸国との海上航路の充実発展のために一民間人として微力をつくしております。本年も五月、八月と二回行ってまいりました。北東アジアの平和が日本と吉林省の交流には絶対条件です、少しずつ明るさ

私の近況

22-6 市倉 信義



都立三田高校を卒業して約三十年が経ってしまいました。あつという間の三十年。このあつという間をもう一度繰り返したら、ほぼ男性の平均寿命になつてしまいます。人生とは何と短いものかとつくづく考え込んでしまいます。宇宙全体から見た場合、もともと時間の単位は『光年』であり『年』では短すぎるのでしよう。

妻と子供四人の六人家族。妻共々税理士をしている関係上時間の都合が自由にできるので、交替で大学を行き直しました。昨年は妻が、三田高校近くの大学の商学部を卒業しました。

現在私は、本業の税理士業をしながら、大学の特別講座を一つもち講義をしたり、ロータリークラブに参加したりしております。

最後に、皆様方の御健康と御発展、ワカバ会の発展をお祈り申し上げます。

私の大学生活

52-4 露 英一

大学生活が始まりはや四ヶ月。過ぎてみれば早いもので、前期の授業はもう終わってしまいました。四ヶ月間の大学生活の中で感じたことは、大学は高校に比べて自由であるということです。自由といつても、勝手に気ままにというわけではなく、自分次第でどうにでも変わるものだということです。

勉強にがんばるのもよし、遊びまくってしまふのもよし、サークル活動に熱を入れるのもよし、何にがんばるかはその人自身が決めるのです。だから、自分に責任をもたねばいけないと最近思っています。考え方によつては大学というところは無責任なところと考えられますが、私はそんな大学での生活が大好きです。最近、そんなことを思いながら毎日を充実したものとして送っています。

私の近況

12-3 栗原景太郎

神戸商船大学ヨット部(?)を卒業し外航船の航海士として海上生活を経て、日本人として初めての小型ヨット(全長7・5メートル)による世界一周をやらした、という風変わりな奴である。関西で朝日新聞社後援のヨット教室等を開催していた。現在東京に戻り、趣味として帆船キャリアド号

(日本一大きいヨット)の船長をしたり、知人所有のクルーザーで海を楽しんでいる。ヨットを習いたい方はご連絡を。

仕事は年に数回、はかま満緒会長、高橋圭三理事長の(社)虹の会で往年の大歌手、二葉あき子、並木路子、渚ゆう子さん達と老人ホームの慰問のお手伝いをしたり、高齢者新人類(新語)の為のアクティヴで生きがいクラブ的なものを企画中である。又、環境問題特にPCB処理関連の会社の役員として世に貢献すべく難題に取り組んでいる。



中央が筆者

今回は高校の卒業回数末尾2の方に原稿をお願いいたしました。今回は末尾3の卒回の方をお願いいたします。どうぞ原稿をお寄せ下さい。17字×20行です。楽しい写真も歓迎します。

傘寿を越えて

9-1 城

愛子(加藤)



年クラス会を続け、今年も五月十二日に致しました。現在会員数は三十一名、逝去者十一名、消息不明者七名です。一昨年傘寿を迎えましたが、毎年十五名前後の出席があり、曾孫のある方、ダイヤモンド婚を迎えられた方色々です。米国のフロリダに永住の方もあり、遠く岡山県からはるばる上京出席される方もあります。

初代校長丸山先生の御薫陶を受け、皆府立第六卒業という誇りを持って居られると思います。さすがに腰が曲がった方もなく、これからも元気にクラス会をつづけて行きたいと思っております。終わりにワカバ会のますますの御繁栄をお祈りいたします。

三十五期二〇周年同窓会実施

35-4 島津 雄介

小雨の降る六月二十四日(土)。待ちに待った「三十五期入学二〇周年同窓会」を迎えました。昨年の九月に十一名の有志で発足した委員会により、約九ヶ月の準備期間を経ての実施でした。10周年同窓会の後、私設HP運用を開始したため、行方不明者は前回程多くはなく、その人達についても、掲示板への告示等で判明したりで、最終的には、十名以下までもつてこれた事は、うれしい誤算でした。また今日からEメールによって案内や出欠確認を試行。生産性や通信費用の削減に大きな効果をもたらしました。まさに文明の力といったところでした。十三時から始まった一次会は、最終七次会(翌朝七時)まで延々と続き、新たな思い出を作りつつ、無事終了いたしました。尚詳細については三十五期のHPをご覧ください。

<http://www.fshnet.or.jp/~shimazu/mita20top.htm>

十数年ぶりの「オ組の会」

3-5 毛利 浩子(岩附弘子)

彥星と織姫様が一年に一度天の川でお逢いになる七夕の日に、私達昭和二十年入学の「オ組の会」が新宿「車屋」で十年ぶりに開かれました。昨年四月に行われた「小此木先生の白寿を祝う会」に参加した方々からの希望もあり行われたのですが、なにしろ久しぶりの事でもあり、昭和二十三年に高校生となつてクラスが別れて以来はじめてという方もいらして、初めはお顔とお名前がつながらなかつたり少し戸惑いもありましたが、たちまち五十数年前の女学生の時代に逆戻りして和氣藹々と近況を語り合つたりしました。艱難辛苦のあつた方もいられ、それを乗り越えて、明るくお幸せにおすごしの暮しの様子にふれ、とてもうれしく、時のたつのも忘れるほどでした。

次回には二年後の「私達の「古稀を祝う会」に再会を約し名残を惜しみながら家路につき



小此木先生白寿のお祝い同期会

19-1 山本 英子(岡部)



四月二十六日、五年に一度の同期会が明治記念館で開かれ、小此木先生の百歳祝賀会も兼ねて七六名の懐しい方達の集まりとなりました。二十世紀をまる

ごと百年過ごされた先生のお元氣な御挨拶と、心身共に揺るぎないお姿に私共が逆にパワーを頂く感じになりました。秀才で健康な遺伝子が僅か二人のお子様を受け継がれるだけでは勿体ないと感じた声ばかりでした。第二次大戦の空襲下、学徒動員で工場へ通う十五、六歳の女生徒達を守つてくださった御苦労がどんなに大変でいらしたところかと感慨深いものがございます。勉強できないまま一年早い繰り上げ卒業、アルバムも無く別れた学年でした。半世紀余り過ぎた今、平和の中で百歳の先生を囲み、大勢が楽しく集まれる幸せに感謝の他ございません。幹事様ありがとうございました。



静岡支部だより

16 エ 安富 敏子(鈴木)

平成十一年十一月十日はすっかり晴れて穏やかな日となりました。西は浜松、静岡方面、東は御殿場、下田方面から静岡ワカバ会の方々が集まり、沼津駅より迎えるバスで三十分、静浦湾の重須(おもす)に向かいました。

総勢十六名で海を五分間のクルージングで渡って淡島ホテルに着きました。北側の海の方こうに富士を眺め、反対の湾の奥には六十余年前の第六時代、水泳教室が開かれた三津浜を臨み、海底に太い綱でつながれた浮きプールで岸より漁船で運ばれ、海の中に落とされて仕方なく泳げるようにさせられて終わった想い出の地を眺めて話が弾み、イタリア料理に満足し楽しい一日でした。



先輩の静岡の福山様も退院後初の外出を無事に過ごされて、又のお目もじを楽しみに、お別れ致しました。

わ

会、支部会、クラス会、OB会、同窓会、同期会、なんでも、楽しい、是非、お寄せ下さい。

二十七回卒業生同期会

27 3 齊川由紀子(川島)

去る二月五日(土)、東京・西麻布の香港ガーデンで、二十七回卒業生の第四同期会が開かれました。

立春の翌日とはいえ寒い日でしたが、参加者は六十六名、皆で持ち寄ったいろいろな品物があたるビンゴ大会もあって、会場は暑いくらいでした(ビンゴの商品が足りるかどうか、幹事たちは心配していたようですが、参加人数を大きく上回る商品が集まって、うれしい悲鳴でした)。また、話に夢中になるせいか、お料理がなかなか減らないで、お店の人が心配していたそうです。

二次会は恵比寿駅前に会場を移し、二次会から参加した人もいて、クラスごとに記念写真などを撮り(なぜか違うクラスの人たちに混じって写真を撮る羽目になった人もいました)、また一段と盛り上がりました。最後は十三名で四次会。ここまでいた人は十一時間一緒にいたことになります。

一次会の会場で、次回は五年後と幹事が言ったところ、大ブーイング。二十世紀初めにやるべきだ、との声が高

く、来年にはまた同期会が開かれることになりました。

同期会が終わったあともEメールが飛び交い、思い出を新たにしたり、家族や教育について語り合ったり、また新しいコミュニケーションができています。来年の同期会が今から楽しみです。

なお、幹事より連絡が行かなかった方は、ご連絡をください。

井上 里佳

e-mail: angel@bdmbn.or.jp

TEL 0468-72-11219

一七クラス会

29 1 瀬戸口 彩(内村)

クラス会という普通卒業生のクラスのようなのですが、私たちは一年の時のクラス会を続けてきました。一年七組です。担任は内山勉夫先生でした。三田に入学して高校生活のスタートを共に切った仲間だったからでしょうか。無性に会いたくなることがあり、会うと元気になる、そんな関係です。

集まるのは、二、三年に一回、女子だけということが多いのですが、最近ではEメールのおかげで男子とも連絡が取りやすくなりました。

今年三月二十日黒雅叙園に女子のみ六名(津久井、西村、福嶋、森ノ内、山本、内村)が集まり、いつものように話題が尽きず散会するのが惜しいものがありました。(敬称略、旧姓)

五回生入学五十周年の同期会

5 6 西田 敬子(須内)

「三田高校入学五十周年を迎え、記念すべき二千年に同期会を」とは何と幸せなことか。四月三十日ホテルメトロポリタンに十年振り集ったのは八十八名。卒業以来よという人、一瞬誰かと戸惑う人、すぐに制服の顔が浮び賑やかに再会を喜び合った。夫々の活躍振りに感心したり、声援を送ったり!

疎開や転校をした国民学校。戦後焼け跡に新設の中学校。だが高校生活は恵まれ共学の一期生。風格ある学舎で充実した授業、名調子の講義、屋内プールや芝公園の運動会等やと落ち着いて大いに励み楽しんだ。こんな輝いた若い時を共有して互いに活力を共鳴させるのか、元気を貰う貴重な楽しい一時だった。

皆のいい表情が心に残る。幹事のお骨折りがあつたからこそ感謝している。

次回二十一世紀初頭の同期会にも大勢一堂に集えることを願っている。



情報ひろば

◆新刊紹介

① 『字源物語－漢字が語る人間の文化－』

著者：加藤 道理(元教頭)

発行所：明治書院 定価：1,500円

身体・衣食住・冠婚葬祭など日常生活に関わる漢字について、甲骨文字や金文の字形を示しながら、物語風にその成り立ちを解説した書。漢字と人間社会との結びつきがよく理解できるとともに中国古典への興味を喚起するに足る本と言える。

② 『楽人』 高城重躬先生の遺稿集

先生は府立第六高女時代の昭和11年から28年間数学教師を勤められ、又ピアノの達人で多くの生徒が影響を受けて巣立ちました。音響機器にも造詣が深くその方面でも高名です。

ご希望の方は 郵便振替 00120-7-6388 宮崎玲子まで 1,500円(送料込) お振り込み下さい。

昭和18年入学の同期生 宮崎玲子

TEL 03-3260-3653 FAX 03-3260-4351

〒162-0834 新宿区北町18

◆支部

① 宇都宮支部

新しく宇都宮支部を開設いたします。

宇都宮近辺に在住、在勤の会員はご連絡下さい。

今後の催しなど決めたいと思います。

連絡先：小川アツ子(5-6) 028-664-3012

② 浦和支部

浦和ワカバ会(埼玉)も結成より40年たちました。

来年2001年春に集まりたいと思っていますが、

浦和、川口、蕨等県南にお住まいの方はご連絡下さい。

連絡先：中村泰子(18修オ) 048-885-7476

③ 静岡支部

日時：平成12年11月2日(木) 10時

場所：清水ベルジュ35内の「朝陽館」

中華料理です。

昼食後はエスパルスドリームプラザ他の見学をします。清水在住の高14回の方々を中心に幹事を引受けて下さいました。毎年秋に静岡県東部・中部・西部が交替で親睦会をしています。

連絡先：稲葉和寿子(5-2) 054-285-6573

◆第29回 加藤恭二子先生ソプラノリサイタル

日時：平成12年11月17日(金)

19時開演

場所：こまばエミナース

入場料：4,000円

問合先：都立三田高校

戸田雅子(19-1)

FAX. 03-3453-2899

カルーソーの発声法を追求し、のどのあいた透明な声を求め続けていらっしゃいます。



◆演奏者募集!!

私たち三田高校OBオーケストラは、結成より10年の歳月が経ち、年に1度の定期演奏会も第10回を迎えるに至りました。次回演奏会は、第10回を記念し、より盛大な演奏会を目指しております。その演奏会で一緒に演奏しませんか？ 高校時代の所属クラブ等は一切問いません。ひとりでも多くの方の参加をお待ちしております。詳しくは、お気軽にお問い合わせ(都合によりなるべく11月末日までに)下さい。

本番：2001年6月9日(土) 大田区民プラザにて

指揮：三澤 寿喜(元三田高校音楽教諭・

当団常任指揮者)

鴨志田達哉(当団常任指揮者)

曲目：ドヴォルザーク作曲

「交響曲第9番“新世界より”」他

問合先：甲斐順也(44-8) 03-3456-8702

◆ワタリウム美術館

ゲイリー・ヒル幻想空間体験展

開催期間：2000年9月2日～2001年1月14日

開館時間：11時～19時(水曜日は21時まで)

休館日：12月を除く月曜日(月曜日が祭日の場合は開館) 12月31日～1月5日までは閉館

入場料：大人1,000円 学生800円

場所：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-7-6

営団地下鉄銀座線外苑前下車、徒歩7分

青山3丁目交差点を千駄ヶ谷方面に信号

一つ(青山キラー通り)

電話：03-3402-3001

FAX：03-3405-7714

メディアアートの第一人者 ゲイリー・ヒル(1951年、サンタモニカ生まれ)がビデオやコンピューターを使った21世紀版の幻想空間を創り出します。メディアアートの新しい可能性を探ります。

和田利恵津子(27-2)

情報ひろばはあなたのひろばです。どしどし情報をお寄せください。

わかバ会行事に参加して

横浜散策の会に参加して

14-2 佐々木蓉子

四月七日横浜散策の会は十八名が集いました。花曇りも午後には快晴。桜木町駅前の鉄道発祥の史蹟に当時の「陸蒸気」を目に浮べ、中村 實先生の解説に聞き入り散策スタート。本牧公園、桜並木の遊歩道、ホテルでの昼食後、関東の名庭園「三溪園」に到着、主席芸員の川幡様にご案内いただきました。六万坪の庭園は山や谷、池の奥の山上に三重の塔、重文建造物の数々が美しく配置され、由緒ある茶室や仏殿、特に原三溪の隠居所「白雲亭」は特別拝観に預りました。大正九年建造の邸内は落ち着いた庭、日本伝統の巧(たくみ)と技(わざ)が駆使された室内と建具、皇室おもてなしに使用の赤漆のテーブル、洋文



化導入の電話機、シャワーや水洗トイレと、当時のおもてなしの様子が忍ばれて皆びつく

り。顔も輝やいて心に残るものでした。この自然と、日本の美を残された原三溪、そして川幡様、中村先生に感謝して、山吹・桜に囲まれる中解散しました。次回の鎌倉散策が楽しみです。(平成十二年四月七日実施)

第七回ゲーム大会に参加して

13-1 小川婦美代(大塚)



いつもあこがれていたワカバ会マージャン大会に、思いきって参加させていだきまして。はじめの参加で、とても不安でしたが、お世話役の中村様の行き届いたご配慮と、同窓生という気安さでしようか、すぐうちとけて和やかにゲームがはじまりました。明るい清潔な雰囲気、楽しいひとときが、あつという間に過ぎてしまいました。そして、まさかまさかの一等賞をいただいたのです。まるで夢をみているような気持ちでした。

参加者 二十八名
一位 小川婦美代 (13-1ウ)
二位 中村左都子様 (7-12)
三位 太田 ふさ様 (会員姉)
ワカバ賞 城代 静様 (3-13)
B・B賞 深野 チエ様 (19-1イ)
ホープ賞 他二十三名
(平成十二年六月七日実施)

コーラスのつどい

10-3 石井 素子(船越)



ワカバ山荘でのコーラスのつどいに参加する事は長いこと私の念願でした。涼風とから松の木立に囲まれたおしゃれな山荘で、初対面ながら何故か懐かしく思われる方々に、暖かく迎えられました。自己紹介、和気あいあいの夕食後、加藤恭三子先生の御指導でレッスンが始まりました。初参加の七名は一番前で発声のイロハから教えを受け、その真摯でウイットに富んだレッスンに時を忘れ熱中しました。先生は三田高校で十余年間講師をされながら、カルーソーの発声法を学ばれ、リサイタルも多数、幅広く活躍されています。そのエレガントなお姿からは想像できない程、力強く透明で美しい歌声に、私達はすっかり魅了されました。

懐かしい先生方の消息や、学生時代の思い出話は尽きることなく、再会を約して、ワカバ山荘を後にしました。

すばらしきワカバ山荘

45-4 吉井 直子

レイクニュータウンの緑のトンネルを抜けるとワカバ山荘であった。放送部時代の仲間と五人で訪れたこの山荘、皆初めての利用で期待と不安に胸を躍らせて軽井沢からタクシーに乗り込んだ。

結論から言ってしまうと、とにかく快適な山荘で、部屋はきれいだし食事はおいしいし山荘で働く人達は皆親切だしおまけに利用料が安いで「三田高の卒業生なら利用しなきゃ損々！」である。

花火を持参して夜は山荘の前で夏の風物詩を満喫し、部屋に戻ってからは恋愛談義に花が咲き、笑いの絶えない旅となった。そして結婚の予定の全くない私達五人は「来年も絶対来よう」と固く誓ったのであった……。



写真館にて 右端が筆者



ゴルフの後
はワカバ山
荘でビール
で乾杯の後
しばし欲談、
成績発表、
後輩の平山
さんが撮っ
て下さった
ビデオで皆
のスイング
チェックと
大いに盛り
上がり山荘
の夜は更け
ていきます。
同好の親睦
の輪が何時
までも続き

ゴルフ会に参加して

8-3 市川 幸子(長沼)

『お久しぶり今年もよろしくネ』と懐かしい面々が集い第十七回ゴルフ大会が軽井沢72で行われました。参加する事に意義ありと私は第二回からの常連です。初参加の時はルールも解らず教えてもらい乍らのラウンドでした。

「石の上にも三年」どころか十六年、還暦過ぎた私に思いもかけず自己ベストスコアが出て優勝させて頂き、正に継続は力なりを実感した次第です。プレッシャーもかけず静かに見守って下さった同伴プレイヤーに大いに感謝。

ます様に、又来年も健康に気をつけて軽井沢でお会いしましょう!!
万年幹事の山口謙一郎さんに感謝しつつ。
(平成十二年九月二日実施)

「平成の時代」に読む 「万葉集」に参加して

16-1 金子 寿美(歌田)

都心の日曜日は静かでした。改築後初めて訪れた母校は、すっかり周囲の様子も変わり、大好きだった半円形の窓もなく、近代的な校舎でした。わずかに残されたオセンチ山は昨夜の雨でしっとりぬれて、小さな石段をうめつくす夏草に、虫の音がさわやかでした。母校の応接室で、母校の先生から「万葉集」のお話を伺える企画は、何と素敵なことでしょう。戸田先生手作りの資料によって進められ、万葉集の分類の内容がユニークで楽しく、今迄とちがった見方ができました。

日本文化の特徴からくる言葉や文字、西欧の文化による感性のちがいが、更に生涯学習の話と展開しました。コーヒを頂きながら話は尽きず、予定を一时间以上超過しました。また出来れば、この続きをお願いしたいと思ひました。

(平成十二年九月
二十四日実施)



これからのワカバ会行事 (募集中)

④<古都鎌倉の新しい魅力を探る(1)>

～第4回ワカバ会小さな旅～

期日：平成13年4月6日(金)

集合時間&場所：午前11時 JR横須賀線鎌倉駅

定員：20名(応募者5名未満の場合は中止)

見学場所(予定)：鎌倉近代文学館、鎌倉能楽堂、
豊島屋菓子資料館など

講師：中村 實先生(東北文化学園大学教授、
専門 観光学&交通論)

参加費：2,500円(保険料、資料代、見学科のみ)

昼食は各自随意のため費用には含まれて
いません)

申込締切：平成13年3月12日(月)

今までは毎年春に横浜散策を行い計3回になりますが、皆様のご希望により平成13年の春(第4回目)は鎌倉を訪ねることになりました。そして名称も「ワカバ会小さな旅」として神奈川県内の名所を中心に散策していきます。ご期待下さい。

学校だより

今年の学校と生徒の様子を思いつづ
ままに書いてみたいと思います。

四月。今年もまた新入生を無事迎えることができました。月末には、各学年校外学習(遠足)に行きました。

一年生は益子焼の手びねりと苅狩りの体験学習。二年生は修学旅行前の班別学習の実践として都内見学。案外東京に住んでいても普段は行かない浅草などを訪れる班が多かったようです。

三年生は今年もデイズニランドです。五月。一年生にとっては初めての中間考査。そして、試験が終わるとほっとする間もなく体育祭。今年も芝公園

の野球場を借りて行いました。応援団もようやく軌道に乗り盛り上がりつつある感じがします。

六月。体育祭が終わるとすぐに教育実習。だんだんと数は減ってきてはいますが、母校の教壇に緊張しながらも立つ姿が初々しく感じられます。中には初めから堂々として教員顔負けの人もいました。

七月、八月。期末考査、そして夏休み。この夏も多くの生徒たちが部活動に動し合宿に参加しました。今年もサマーセミナー(勉強合宿)が一年生を対象に白樺湖で行われました。

九月。新学期が始まり、白珠祭も無事に終わりました。

総会報告

第63回ワカバ会総会は、去る五月二十一日(日)に例年通り母校音楽講堂で開催されました。

本年度も百二名の会員の出席を得て平成十一年度事業報告・決算報告が承認され、続いて平成十二年度事業計画予算案も満場一致で承認されました。

今年から、総会に続く懇親会を昼食として十分に楽しんで頂くため、開会時間を一時間早めて会報でお知らせ致しましたところ、混乱もなくお集まりいただき感謝しております。また、ここ数年来で一番多数の新入会員の出席があり、喜んでおります。来年も尚一層大勢の方々が、私達の総会に関心をもって御出席下さる様願っています。

恒例の福引大会は、各種カートの賞品が毎年好評で、当り番号が出た席からはその度に歓声が沸き起こり、熱気に包まれながら定刻閉会となりました。



平成11年度決算・平成12年度予算

科 目	平成11年度 決算額	平成12年度 予算額	科 目	平成11年度 決算額	平成12年度 予算額
I. 収入の部			II. 支出の部		
① 基本財産運用収入	945,194	1,060,000	① 事業費	17,542,812	15,650,000
② 会費・入会金収入	9,698,370	9,605,000	② 管理費	6,935,385	7,006,000
③ 事業収入	4,110,099	4,100,000	③ その他支出	2,709,980	338,000
④ その他収入	11,285,581	8,246,000			
当期収入合計 (A)	26,048,244	23,011,000	当期支出合計 (C)	27,188,177	22,994,000
前期繰越収支差額	67,747,607	66,607,674	当期収支差額 (A)-(C)	△1,139,933	17,000
収入合計 (B)	93,795,851	89,618,674	次期繰越収支差額 (B)-(C)	66,607,674	66,624,674

理事会報告

平成11年度

9月 理事会 出席14名

・各委員会報告

・本年度山荘利用状況の結果報告

11月 理事会 出席12名

・各委員会報告

・会報46号発送報告

・新パソコン導入について

・山荘利用者へのアンケートについて

1月 理事会 出席12名

・各委員会報告

3月 理事会 出席13名

・各委員会報告

・総会の準備について

平成12年度

4月 理事会 出席12名

・各委員会報告

・総会準備最終確認

・新パソコン導入を決定

・11年度決算、12年度予算決定

5月 評議員会 出席54名(委任状を含む)

・総会議案承認

5月21日(日)

第63回ワカバ会総会 出席102名

・11年度決算、12年度予算承認

6月 理事会 出席14名

・各委員会報告

・総会報告、反省

委員会報告

総務委員会

総務委員会は、事務局と大変密接な立場にある委員会、常に力を合わせて、事務局の運営や総会の準備にあたりております。本年度も五月二十一日に第63回ワカバ会総会が無事終了いたしました。

ワカバ会事務局のパソコン化も定着しました。よりよい活動のための皆様のご意見、ご要望をお寄せ下さい。お待ちしております。

委員長 竹内 和世(5-4)

鈴木美智子(9-3)

平山 孔嗣(29-2)

企画委員会

企画委員会は同窓生の親睦、交流を目指して種々の企画を立てています。従来は「ゲーム大会」の他は、主に屋外に出るの見学が多かったのですが、平成十二年度には、母校における「万葉集をよむ」の講座を設けました。ご参加皆様のご感想はいかがでしたでしょうか。今後の企画に対する皆様のご意見を事務局までお寄せ頂けたら幸いです。

委員長 佐々木 昭(5-1)

中村左都子(7-2)

戸田 雅子(19-1)

事業運営委員会

軽井沢山荘利用促進のため、皆様方にアンケートをお願いして多数の回答を頂きました事は前号で報告致しましたが、ご意見をもとに早速一階男女各浴室及び洗面所にヘアドライヤーを取付けました。また、連泊者の夕食メニューの変更や、和朝食希望者もメニューを選べるように致しました。来夏には多数の皆様でご利用下さい。大田区鶴の木貸駐車場は引き続き満車です。

委員長

山口謙一郎(8-1)

杉本貴久子(16-オ)

竹内 和世(5-4)

中垣 俊二(8-2)

会計委員会

日頃維持会費の納入にご協力頂きまして有り難うございます。ワカバ会は基本財産、維持会費、山荘及び駐車場事業等からの収益により運営されておりますが、主柱である維持会費は現在でも約四分の一の会員が納入されているに過ぎません。維持会費の増収が財政の安定とワカバ会の活性化には是非とも必要です。今後とも会費の納入にご協力下さいますようお願い致します。

委員長

笠原 俊也(15-4)

松永佐智子(12-エ)

茨木 万理(19-エ)

平山 孔嗣(29-2)

広報委員会報告

今年の春号から発行日を4月1日から5月1日に変更いたしました。またそれに伴い、この秋号は10月1日から11月1日に変更させていただきました。今年が実質的には新委員を迎えて企画編集を行う最初の年となりました。今後ともよろしくご指導のほどお願いいたします。

委員長

田中 浩(32-5)

津田 一哉(32-8)

村木真知子(24-2)

御寄付御礼

・第六高女13-I(故)鈴木喜久子様
御遺族様から一万円のご寄付をいただきました。ありがとうございます。

PTA広報誌から

三田高校、PTAからの依頼により、学校案内、PTA広報誌への原稿、講演会の講師等、ご協力いただいた方々です。どうもありがとうございました。

・11年度三田高等学校案内

・梶原収功(10-3)、酒井秀夫(22-6)

・PTA講演会講師(平成11、12年)

・故大室諭(20-6)、青木優和(31-6)

・PTA広報誌(平成11年)

・鈴木美智子(9-3)、宮川健郎(26-2)

(敬称略)

支部連絡先

札幌	5-エ	白居 和子	〒064-0917	札幌市中央区南17条西12丁目2-25	011-561-8810
東北	7-ウ	寺嶋 辰代	〒981-0411	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜字北赤崎32-7	0225-88-2028
宇都宮	5-6	小川アツ子	〒321-0984	宇都宮市御幸町144-5	028-664-3012
浦和	18修オ	中村 泰子	〒336-0014	浦和市前地3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒261-0012	千葉市美浜区磯辺6-6-10-304	043-277-3469
湘南	19-ウ	越村 苗子	〒251-0031	藤沢市鵠沼藤が谷3-5-21	0466-23-5441
静岡	5-2	稲葉和寿子	〒422-8071	静岡市豊原町2-13	054-285-6573
東海	2-2	神野能生子	〒440-0806	豊橋市八町通4-48	0532-53-3261
関西	10-イ	原 とき子	〒660-0883	尼崎市神田北通り9-261	06-6411-0762
京都	5-オ	山田 啓子	〒617-0824	長岡京市天神4-6-15	075-951-1477
福岡	7-3	爲数 俊子	〒818-0101	太宰府市観世音寺6-16-16	092-923-0849
大分	4-4	山下 延子	〒870-0826	大分市城南西町2A-27-2712	097-543-4233

OB会連絡先

(ワカバ会まで連絡いただければ、次回より掲載します)

部 名	代表者又は連絡係	卒業回数	〒	住 所	電話番号
アメフト	五十嵐 清	29-3	141-0021	品川区上大崎1-5-10	3441-8384
三籠会(バスケ)	篠根 章高	6-4	179-0075	大室様方 アメフト部後援会気付	5934-2674
ラグビー	永井 太郎	15-3	358-0054	練馬区高松6-12-3	0429-32-8060
バドミントン	江口 洋平	43-8	140-0011	入間市野田921-1	3450-1176
弓 道	石井 健一	42-8	144-0045	品川区東大井4-8-10-605	3732-4960
管弦楽(室内楽)	甲斐 順也	44-8	105-0014	大田区南六郷1-33-3-302	3456-8702
バレーボール	佐藤 大悟	47-2	144-0055	港区芝3-14-5-307	3733-1326
水 泳	井野元 大介	49-1	143-0023	大田区仲六郷4-13-10-106	3777-3649
卓 球	橋本 一夫	19-6	300-1266	大田区山王2-7-46-302	0298-76-2101
フォークソング	和田 典也	33-4	108-0074	稲敷郡荏岐町自由が丘430-12	5448-9065
				港区高輪2-1-11-611	

吉本洋子先生を偲ぶ

83 井出 園子(鯨島)

六月末、吉本洋子先生の突然の訃報に接しました。古き良き思い出が絵巻物のように広がります。

数学の時間、「柄杓が耳かきの代りになりますか!」。単位を間違えて答えたKさんの苦し紛れの一言「大は小をかねる」に対する先生のカウンターパンチです。理科学的な厳格な一面と、文科的な奥行きと機知に富んでおられ授業は生き生きとして緊張と笑いに満ちていました。先生はお美しく魅力的で生徒の憧れの存在でもありました。

また、歌人として短歌誌を編集発刊されるなど活躍され、私どもは先生の「うたとエッセイばあ」が、毎号届くのを楽しみにしておりましたが……。先生を偲び、「才能豊かで少し短かったことのほかは羨ましい人生を送られた」と黒澤紀子さん。

謹んでご冥福をお祈り申しあげます。



三宅先生の保健室

227 高野みさ子(塩島)

去る七月十六日、養護の三宅先生が亡くなられました。享年六十四歳でした。

先生は昭和四十二年に赴任されましたが、以来八潮高校に異動されるまでの十八年間に、「三宅先生の保健室」は現役生徒ばかりでなく、卒業生達の溜まり場。特に悩みやトラブルを持った生徒のオアシスでした。先生は、時には優しく時には厳しく、まるで姉貴の様に我々の相談相手になってくれました。先生の指導と配慮のお蔭で無事に卒業できた生徒も少なくないでしょう。

五年程前からパーキンソン病に冒され終には字を書くことも話すこともできない状況の中、最後まで人を気遣い、人を和める姿勢は変わりませんでした。先生、天国に行った今、もう今度は自分自身が楽しく過ごす事を考えてね。……心からご冥福をお祈り致します。



追悼 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

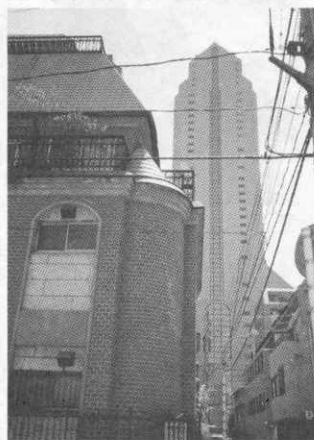
御厨	良一	所属	逝去年月	御厨	美代子	所属	逝去年月
長津	一郎	旧職員	平成12. 8	魚返	美加子	11-ア	平成12. 4
和田	寛	旧職員	11.10	飯島	迪子	11-エ	11. 9
吉本	洋子	旧職員	11.11	鈴木	喜久子	11-オ	12. 1
松原	静子	旧職員	12. 6	栗飯原	律子	13-イ	10. 5
三宅	貞子	旧職員	12. 8	根本	美知子	13-エ	12. 4
郡司	勝至	旧職員	12. 7	三上	富江	13-エ	12. 4
大塚	和歌子	2-B	10. 7	岩本	美津子	14-ウ	8. 6
鳥海	京	3-A	11.10	中川	昌子	14-エ	11. 7
志摩	敏	4-イ	12. 4	菅野	純子	15-ウ	12. 3
相島	千恵子	4-オ	12. 6	長川	尚子	16-ウ	12. 1
平野	玲子	5-イ	10.12	占部	暁子	18-イ	12. 2
菊池	ハツ	5-ウ	11.10	河野	八重子	22-エ	12. 3
斎藤	敏子	5-ウ	12. 2	岡田	弘子	2-2	9.10
奥苑	俊子	6-イ	11.11	藤岡	友子	3-7	11.12
三原	千鶴子	7-ウ	12. 5	萩原	美代子	4-2	12. 4
香坂	徳子	7-エ	12. 5	松丸	八重子	4-2	11.10
吉村	圭	7-オ	12. 2	山口	キミ子	4-4	12. 6
関	恵子	8-ウ	12. 4	中西	仁子	5-3	5. 5
佐藤	博子	8-エ	11.10	河内	京子	5-4	12. 2
田口	順子	8-オ	12. 3	藤井	利光	5-7	12. 4
米本	利都子	9-エ	5.10	品川	美奈子	6-3	11. 2
平山	文子	10-ア	12. 3	品川	隆亮	9-4	8.
山村	まさ子	10-イ	12. 4	磯崎	紘子	12-4	12. 3
北脇	雅子	10-エ	12. 8	中村	美砂子	15-4	11.12
吉野	富美	10-エ	11.11	石神	さつき	21-7	9.12
伊藤	淳	10-オ	12. 4			31-2	11. 9

三田・みる・スポット

MITA-SPOT

学校の帰り道で楽しく語り合ったあの人は今どうしているだろう。X年ぶりの通学路にはそんななつかしさがあります。田町駅前の信号を渡って慶応仲通りのアーチをくぐると道は昔のままです。すぐ左の「尚秀刃物店」のご主人もユニークな手作りの看板や「クリの皮ムキ」なんて札を吊してお元気。愛雀荘、慶大生用学生服の店や、古い薬局、レンガ造りの医院など今も変わりません。路地をアマダクジのようにたどって出た三田通りは拡幅工事が完成に近づき東京タワーの足元へ向って広い道が突き進んで行くように見えます。三田高校へ入る角には三田国際ビルがそびえていますが、学校の周りは変わりません。三井邸も貯金局もほぼ昔のままです。ここまで来られたら東京タワーに久しぶりに上ってみられてはいかがでしょう。42年間台風にもビクともせず、都内のどこから見ても、つい思わず嬉しくなる不思議な存在です。(K)

(12月12日に都営地下鉄大江戸線の赤羽橋駅が開業予定です。)



東京タワー：営業9時～19時（夏期は20時）、無休。
(料金は大展望台まで820円、特別展望台へはさらに600円) Tel. 03-3433-5111

ワカバ会駐車場

(所在地：大田区鶴の木3-32-10)

お近くにお住まいの方は、どうぞご利用下さい。
駐車場料金等詳しいことはワカバ会事務局までお問い合わせください。

編集後記

- 今回も、多くの方々から原稿をお寄せいただきありがとうございました。様々な場所で、先輩・後輩の皆様が生活され、ご活躍されている様子がよくわかりました。三田高校出身の一人として、喜びと誇り、そして感謝の気持ちを新たにしております。これからも『わかばの輪』のために、微力ながら努力していきたいと思っております。(Tu)
- 先輩の皆様の颯爽とした生き方は私のお手本です。ところで、どの方も三田の時代に、水泳や歩くことで足腰を鍛えられたとのことですが、やはりこれが健康の基盤なのでしょう。四十代半ばにして、やれ肩が凝った、腰が痛い、とグチっている私は大反省。家の周辺をゆっくりと走ったり、中学生の次女に教えられテニスを始めました。(Mu)
- ようやく過ごし易くなってきました。夏の疲れが残る私ですが、第六の皆様健康そうなお様子には頭がさがる思いです。丸山先生を中心とした、生徒と共に新しい学校を創っていこうという当時の意気込みが、生き生きと伝わってきます。既成概念にとらわれず、創意工夫を重ねてより良いものをめざす姿勢が大切なですね。(Ta)

ワカバ会軽井沢山荘より

南軽井沢のレマン湖の近くにある山荘を今年も多数の会員の皆様にご利用いただき、誠にありがとうございました。クラス会、サークルの集いやご家族の金婚式のお祝いの会などに貸切でご利用いただいたり、小さなお子様連れやお一人でのご利用等もあり、アットホームな雰囲気がよかったというご感想をいただきました。皆様からいただいた情報やご意見をもとに今後もよりよい形で山荘を運営していきたいと思っております。来夏も是非ご利用いただきますようお願い申し上げます。

事務局だより

- ◆今年も会費のご納入ありがとうございました。ご協力を感じ申し上げます。ご承知のように約2万名の会員の皆様に対する年2回の会報発行、企画行事、山荘運営、駐車場運営等の経費は、同窓会費で賄われています。平成12年度会費は現在3200人の方に納めていただいております。なお一層のご協力お願い申し上げます。その際は春号に同封の払込取扱票でお振込み下さい。(この秋号には同封されていません。)
- ◆事務局では会員の皆様の情報を守るために、会員以外の方(会員の方であっても)からの問い合わせ、名簿の請求に関しては慎重に対応しております。ご了解下さい。
- ◆クラス会、同期会を開かれる幹事の方は、名簿等でご相談を承りますので、事務局へご連絡下さい。